

みどいのこだま

～ ふくしまからはじめよう。「食」と「ふるさと」新生運動～

福島県相双農林事務所農業振興普及部
〒975-0031 南相馬市原町区錦町1-30
TEL (0244) 26-1149
FAX (0244) 26-1169
E-mail: shinkouhukyu.af06@pref.fukushima.lg.jp

原子力災害からの農業再生（南相馬市小高区の取組）

南相馬市小高区は、東日本大震災と原子力災害により甚大な被害を受けました。平成24年3月30日に避難区域が再編され、避難指示解除準備区域においては、農業復興に向けて水稻の試験栽培や実証栽培が行われるようになりました。また、国による農地除染も徐々に進んでおり、除染後農地でいくつかの作物の試験栽培等が行われています。

そのような中、小高区の農業生産組織「特定農業団体 ファーム蛭沢（佐藤良一代表）」では、平成25年度からナタネ栽培に取り組んでいます。平成25年度は試験的に小面積で行いましたが、平成26年度（平成27年収穫）は「福島県営農再開支援事業」及び「南相馬市小高区美化事業」を活用し、面積を拡大しております。

ナタネ栽培
面積と収穫量

地区名	平成25年度播種 (26年収穫)		平成26年度播種 (27年収穫)	
	面積	収穫量	面積	収穫量
蛭沢地区	1.0ha	0.5 t	15.6ha	6.1 t
南小高地区	—	—	12.8ha	6.9 t
計	1.0ha	0.5 t	28.4ha	13.0 t

平成26年度のナタネは10月中・下旬に播種されました。生育については、一部で播種時期の遅れや低温、湿害及び雑草害等により生育不良箇所が見られましたが、全体としては概ね良好でした。平成27年7月上・中旬には、「福島県営農再開支援事業」でリースした汎用コンバインを活用して収穫作業が行われました。

収穫したナタネは、県内の業者で搾油され、モニタリングにより安全性を確認した上で、食用油として販売するほか、ナタネ油を活用した加工製品の開発も同時に進めていく予定です。

今後は、ナタネの乾燥施設や地元で搾油ができる体制の整備、商品の「販路拡大」等について検討を進める予定です。

この取組は、営農再開が可能となった農地について、農業者の帰還や農地の利用調整などが完了し営農再開されるまでの間、作業受託組織等が一時的に農地の管理耕作を行うものであり、原子力災害に立ち向かう農業再開のモデルとして期待されます。



写真1 開花盛期のナタネの様子
(小高区蛭沢)



写真2 ナタネの収穫の様子
(小高区南小高)

今年も実施します。「すべての米の放射性物質検査」

米の全量全袋検査は、今年で4年目を迎え、皆様の御努力により、相馬地方の平成26年産米は、すべて基準値以下でした。皆様の御理解と御協力に改めて感謝申し上げます。

しかしながら、全県的にみますと、基準値超過の事例が自家飯米で2点確認されました。この2点は吸収抑制対策のかり肥料を散布しなかったことが原因の一つとみられます。

平成27年産米も、県産米の安全性確保のため、引き続き全量全袋検査を実施しますので、皆様方には、御理解と御協力をお願いいたします。

<検査の対象は「すべての米」です>

- 出荷・販売する米はもちろんですが、自家用の「飯米」、親戚などに配る「縁故米」、販売される「ふるい下米」など、**県内で収穫されたすべての米が検査の対象です。**
- 飼料用米も**全量全袋検査の対象です。**もれなく検査を受けてください。
- 基準値を超える危険性は低くなってきていますが、**自分で判断せずに、必ず、全量全袋検査を受けて、検査済ラベルが貼られた米袋だけを出荷・販売したり、「飯米」「縁故米」として利用するようお願いいたします。**

<平成27年産米検査のラベルは、オレンジ色です。>



24年(白黒)、25年(ピンク)、26年(緑色)の各年産用のバーコードラベルは使用できません。



平成27年産大豆・小豆のモニタリングについて

相馬地方で出荷・販売される大豆・小豆は、平成24～26年産と同様に、旧市町村単位で緊急時環境放射線モニタリングを実施し安全性を確認します。モニタリングの検体は、大豆・小豆を生産されている方、直売所等に、相双農林事務所の職員が訪問するなどして採取します。大豆・小豆を出荷・販売する場合は、必ず最寄りの直売所等でモニタリングの結果を確認し、出荷可能の可否を確認してから販売されますよう、御協力をお願いいたします。

表1 大豆の区域(旧市町村)とモニタリング点数(平成27年8月10日現在)

モニタリング点数	新地町	相馬市	南相馬市			飯館村
			鹿島区	原町区	小高区	
全袋検査	—	—	—	太田、石神	—	—
出荷者全員	—	—	—	大甕(解除準備区域)	全域	大館、飯曾(解除準備区域)
面積1haに1点以上	—	—	真野、上真野	原町、高平	—	—
地区で3点以上	—	—	—	大甕(解除準備区域以外)	—	—
地区で1点以上	全域	全域	鹿島、八沢	—	—	—

表2 小豆の区域(旧市町村)とモニタリング点数(平成27年8月10日現在)

モニタリング点数	新地町	相馬市	南相馬市			飯館村
			鹿島区	原町区	小高区	
全袋検査	—	—	—	石神	—	—
出荷者全員	—	—	—	大甕(解除準備区域)	全域	大館、飯曾(解除準備区域)
地区で3点以上	—	—	真野、上真野	原町、高平、太田	—	—
地区で1点以上	全域	全域	鹿島、八沢	大甕(解除準備区域以外)	—	—

(表の南相馬市、飯館村の区域(旧市町村)は、昭和24年4月1日時点の市町村)

目指せ！園芸復興！！「新未来園芸プロジェクト」紹介シリーズ！

【新未来園芸（新たなふくしまの未来を拓く園芸復興）プロジェクトとは？】

福島県のさらなる園芸復興を図るために、各産地の重点品目を集中して支援・推進することを目的としたプロジェクトです。平成 25 年度から平成 32 年度までの 8 年間で推進期間となります。相双農林事務所農業振興普及部では、「トマト」、「ねぎ」、「にら」、「日本なし」、「トルコギキョウ」を選定しました。今年度の「みどりのこだま」では、これら品目の取組内容と成果についてそれぞれ紹介していきます！

第2弾 相馬地方の今を彩る「トルコギキョウ」と「日本なし」を紹介します！！

トルコギキョウ ～「希望」の花を咲かせましょう～

【平成 25 年以前の状況】

相馬地方のトルコギキョウは飯館村を中心に産地が形成され、平成 22 年度は栽培面積 6.5ha、生産者数 62 戸でした。しかし、原子力災害により飯館村は全村避難区域となり、栽培休止を余儀なくされたことから、相馬地方の平成 24 年度栽培面積は 0.38ha、生産者数は 8 戸と産地が著しく縮小してしまいました。



定植作業の様子



トルコギキョウの花言葉は「希望」

【取組と成果】

トルコギキョウ振興セミナーの開催や関係機関・団体と連携して作付推進を行った結果、平成 26 年度は栽培面積 0.86ha、生産者数 19 戸と新規栽培者が増加しています。また、平成 25 年度から「食料生産地域再生のための先端技術展開事業」により、トルコギキョウと低温開花性花きを組み合わせた実証試験も開始され、花きの周年栽培についても模索されています。さらに、今年 5 月には JA そうまトルコギキョウ生産部会も設立され、新たな産地の形成を目指し活動しています。

日本なし ～ 未来に「つなぐ」新技術、広がっています～

【平成 25 年以前の状況】

相馬地方の基幹作物として古くから栽培され、「遅場のなし産地」として産地銘柄が確立されてきました。しかし、東日本大震災が発生し、津波による園地の流失や原子力災害による生産者の避難等により、生産者数と栽培面積は共に減少しました。



ジョイント仕立て

神奈川県で開発された新技術で、樹と樹をアーケードのように接ぎ木をして仕立てる栽培方法です。早期成園化や栽培管理の簡易化・効率化を可能とします。



酸味があり、味わい濃厚な豊水

【取組と成果】

講習会や先進地視察研修等によりジョイント仕立て栽培の導入を推進し、津波被災園を含め、現在 5 戸で導入されています。導入された園地では、さらに面積を拡大させています。また、新たにジョイント用苗木の養成に取り組む生産者もあり、相馬地方での拡大が期待されます。



ジョイント苗木養成ほ場

農業経営講座のご案内について

農業者や新規就農希望者等の方々を対象に基本的な簿記知識の習得、経営管理能力向上支援を目的として開催します。

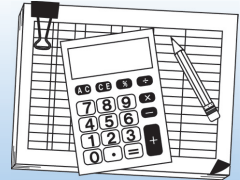
講座内容【全3回】

- 1 回目 平成 27 年 11 月 20 日 (金) 簿記の基礎・パソコンを使った農業簿記
- 2 回目 平成 27 年 11 月 27 日 (金) 上手な記帳と仕訳・税制知識の基礎と最新税制
- 3 回目 平成 28 年 1 月 22 日 (金) 個別税務相談

講師 相双農林事務所農業振興普及部職員 1 回目
 小野英助税理士事務所 小野英助税理士 2 回目・3 回目

問い合わせ・参加申込み

福島県相双農林事務所 農業振興普及部地域農業推進課 渡部
 電 話：0244-26-1149 F A X：0244-26-1169



「拓こう、君の農魂！！」 農業短大で夢を叶えませんか？

福島県農業総合センター短期大学校では、平成 28 年度の学生を募集しています。農業を志す多くの方のエントリーをお待ちしております。

【募集概要】

【学科・専攻】

学 科 名		専 攻
本 科	農産学科	稲作、畑作
	園芸学科	野菜、果樹、花き
	畜産学科	酪農、肉畜
研 究 科		経営(作物、野菜、果樹、花き、酪農、肉畜)

項 目	推薦試験	本 科		研 究 科
		一般試験		一般試験
		前 期	後 期	
受付日	10/2(金)～ 10/9(金)	11/13(金)～ 11/20(金)	1/15(金)～ 1/22(金)	12/24(木)～ 1/20(水)
試験日	11/5(木)	12/11(金)	2/19(金)	2/3(水)
試験科目	(1)小論文 (2)面接	(1)学力試験 (国語総合、数学Ⅰ) (2)面接	(1)学力試験 (国語総合、数学Ⅰ) (2)面接	(1)小論文 (2)面接

【卒業後の主な進路】

- ・就農 (自家、法人等)
- ・農業協同組合
- ・食品・農業関連企業
- ・公務員
- ・進学 など

「募集要項」は相双農林事務所でも配布しておりますので、関心のある方は御来庁いただくか、電話でお問い合わせください。
 電話番号：0244-26-1149

秋の農作業安全推進運動 実施中！！

今年度はこれまでに、県内各地で 6 件の農作業死亡事故が発生しました。トラクター・田植機など農業機械の操作ミスが原因の多くを占めたほか、熱中症による死亡事故も 1 件発生しています。実りの秋を迎え、農作業が忙しくなるこの時期は、

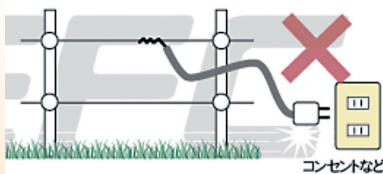
- ① 複数人で、声を掛け合って作業
- ② ゆとりある作業計画づくり
- ③ こまめな休憩と水分補給
- ④ 日頃からの機械点検

以上 4 点を心掛け、怪我なく事故なく実りの秋を迎えましょう！



その電気柵、安全ですか？

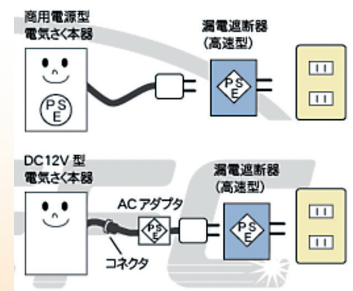
静岡県で違法な電気柵による死亡事故が発生しました。農業者と県民の安全のため、図の 3 点を改めてご確認下さい。



① 電気柵をコンセントに直接繋いでいませんか？



② 危険表示は目立つ所にありますか？



③ 漏電遮断機は設置していますか？

正しく電気柵を設置し、農作物を守りましょう！

資料提供：日本電気さく協会ホームページ <http://www.nihondenkisakuyogikai.org/safetystandards/>